

2025年度 東北大学大学院情報科学研究科

入学者への祝辞

2025年4月、東北大学大学院情報科学研究科にご入学された博士前期課程165名および博士後期課程41名の皆様、ご入学おめでとうございます。また、皆様を支えてこられたご家族や関係者の皆様にも、心よりお祝いを申し上げます。

本学は、2024年11月に、世界トップレベルの研究力を目指す「国際卓越研究大学」の第1号として認定されました。これにより、研究人材や研究環境のさらなる充実が進められ、大きな飛躍の時を迎えております。近年、急速に発展を続けるAI技術が社会を大きく変えつつあり、国際卓越研究大学においても、本研究科の果たす役割はますます重要となっています。

本研究科は、1993年に設立されて以来、情報科学を自然科学系のみならず、人文・社会科学系の分野にもまたがる学際的な学問領域として標榜してまいりました。そのため、理系および人文・社会科学系の幅広い分野の研究室を有しています。理系分野としては、数理最適化、統計・ビッグデータ解析、AI・自然言語処理、高性能計算、量子コンピューティング、サイバーセキュリティ、ロボティクス、通信などがあり、人文・社会科学系分野としては、学習、言語、都市・交通、社会構造・政治などを含みます。このように多様で学際的な研究科は、他に類を見ないと言えます。

ここで、新入生の皆様にお伝えしたいことが二つあります。

第一に、皆様には、幅広い研究分野を俯瞰的に捉える力を身につけていただきたいということです。現代社会では、さまざまな課題が顕在化しており、それらを解決するためには、一つの専門技術にとどまらず、分野を横断したシステム的なアプローチが不可欠です。皆様には、ご自身の専門分野を深く掘り下げると同時に、他の分野にも積極的に触れていただきたいと願っています。新たな分野との出会いは、自身の視野を広げ、専門分野だけでは得られなかった「新しい気づき」をもたらしてくれるはずです。その気づきは、皆様の研究をより一層進化させる原動力となるでしょう。

第二に、コミュニケーション能力の向上を意識していただきたいということです。ご存じのとおり、情報系の研究や開発では、海外の研究者と共同でプロジェクトを進めることが当たり前となりつつあります。本研究科にも多くの留学生が在籍しており、研究室においても国際的な協働の機会が増えています。国際卓越研究大学としての展開により、今後さらに留学

生の数が増加することが見込まれます。このような環境において求められるのは、英語によるディスカッション能力に加えて、多様な文化や価値観を理解する姿勢です。異文化理解に努めながら、円滑なコミュニケーションを図ることが、国際的な研究活動には不可欠です。

最後になりますが、皆様の学生生活が実り多く、充実したものとなるよう、私たち教職員一同は全力でサポートしてまいります。本研究科において、皆様が学びを深め、研究に邁進し、着実に成長されることを心より願っております。

本日は、誠におめでとうございます。

2025年4月吉日
東北大学大学院情報科学研究科長
張山 昌論